

『カテテルアブレーション 改訂2版』 正誤表

『カテテルアブレーション 改訂2版』（2010年7月20日 第2版第1刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2012年4月25日 メジカルビュー社編集部)

ページ	誤	正
p.209 図5脚注	a：左房のactivation mapで、最早期興奮部位（赤：-126msec）から最も遅い興奮部位（紫：126msec）が連続しており、全興奮時間（126+126=252msec）は頻拍周期（253msec）をカバーしている。activation sequenceは左房後壁→mitral isthmus→左房前壁→左房ルーフのリエントリーを呈している。	a：左房のactivation mapで、最早期興奮部位（赤：-126msec）から最も遅い興奮部位（紫：126msec）が連続しており、全興奮時間（126+126=252msec）は頻拍周期（253msec）をカバーしている。activation sequenceは左房ルーフ→左房前壁→mitral isthmus→左房後壁のリエントリーを呈している。